

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年7月29日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング

コード番号 7774 URL <http://www.jppte.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小澤 洋介

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長

(氏名) 大林 正人

TEL 0533-66-2020

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	129	77.4	△260	—	△266	—	△267	—
23年3月期第1四半期	73	203.4	△287	—	△296	—	△297	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△1,463.99	—
23年3月期第1四半期	△2,770.21	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	5,539	4,220	76.2
23年3月期	5,831	4,488	77.0

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 4,220百万円 23年3月期 4,488百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	203	38.5	△656	—	△660	—	△662	—	△3,624.15
通期	471	34.1	△1,172	—	△1,149	—	△1,153	—	△6,311.11

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	182,821 株	23年3月期	182,821 株
24年3月期1Q	— 株	23年3月期	— 株
24年3月期1Q	182,821 株	23年3月期1Q	107,301 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

なお、四半期決算補足説明資料については、当社ホームページに掲載しております。

(http://www.jpte.co.jp/ir/library/index_financial.html)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 継続企業の前提に関する注記	5
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日)におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災とこれに続く原発事故の影響により、経済活動の停滞や電力不足問題等が生じ、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

再生医療分野では、わが国政府による「新成長戦略」の柱の一つであるライフ・イノベーションプロジェクトの一環として、医療イノベーション推進室の活動が始まりました。また、厚生労働省は、再生医療製品の承認プロセスの一つである確認申請制度を廃止し、その代替として平成23年7月1日から薬事戦略相談制度を導入しました。薬事戦略相談制度は、日本発の医薬品・医療機器の早期承認及びドラッグ・ラグ、デバイス・ラグの解消を目的としています。具体的には、シーズ発見後のアカデミア、ベンチャー等における医薬品・医療機器候補選定の最終段階から治験に至るまでに必要な試験・治験計画策定等に関する相談を主な対象としています。

このような状況の下、当社は再生医療製品事業において、自家培養表皮、自家培養軟骨、自家培養角膜上皮の開発を進めました。

自家培養表皮ジェイスは、平成22年4月1日付の診療報酬改定により、保険算定に関する留意事項の一つである施設基準が大幅に緩和されたため、当社は該当する医療機関を中心に営業活動を積極的に展開しました。これにより、当第1四半期末でジェイス採用施設数は100施設超となりました。また、ジェイスの出荷前製造中止率(総受注件数に対して、患者死亡等の理由により出荷前に製造を中止する割合)を相対的に低くするために、医療機関への啓蒙活動を行いました。さらにジェイスは、平成23年3月に表皮水疱症の治療を目的とした希少疾病用医療機器に指定されました。今後、臨床試験を通じて有用性を検証し、ジェイスの適応拡大に取り組めます。

自家培養軟骨は、障害を受けた膝関節軟骨の補綴・修復及び関節機能の改善を目的として、平成21年8月に製造販売承認申請を厚生労働省に提出しました。その後、医薬品医療機器総合機構から発せられた照会事項への対応を進めました。

自家培養角膜上皮は、株式会社ニデックからの委託開発であり、治験前の確認申請に適合するために医薬品医療機器総合機構から発せられた照会事項への対応を進めました。当社は早期に確認申請の適合を受けるため、平成23年1月に製品仕様の一部を変更し、新しい製品仕様で開発を進めることを決定しました。当社は速やかに臨床試験に入ることができるよう取り組めます。

研究開発支援事業である研究用ヒト培養組織ラボサイトシリーズは、動物実験を代替する試薬です。現在、JaCVAM(日本動物実験代替法検証センター)とOECD(経済協力開発機構)により、ラボサイトを使用した皮膚刺激性試験の標準化作業が進められています。

こうした結果、当第1四半期累計期間における売上高は129,623千円(前年同四半期比77.4%増)となりました。ジェイスの売上高増加に対応するため、製造部門及び営業部門等の人員補強を行った結果、営業損失は260,807千円(前年同四半期は287,790千円の営業損失)、経常損失266,698千円(前年同四半期は296,296千円の経常損失)となり、四半期純損失は267,648千円(前年同四半期は297,246千円の四半期純損失)となりました。

なお、セグメント別では、再生医療製品事業の売上高は、116,808千円(前年同四半期比91.3%増)、研究開発支援事業の売上高は、12,814千円(前年同四半期比6.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末の総資産は、自家培養表皮ジェイスの販売が増加したことにより売上債権が増加したものの、現金及び預金が減少したことで、前期末比292,831千円減の5,539,121千円となりました。負債は、借入金の返済等により前期末比25,182千円減の1,318,687千円となりました。純資産は、利益剰余金の減少により前期末比267,648千円減の4,220,434千円となり、自己資本比率は76.2%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年4月28日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年 3 月31 日)	当第 1 四半期会計期間 (平成23年 6 月30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,182,923	3,867,393
受取手形及び売掛金	78,025	112,672
仕掛品	9,926	12,475
原材料及び貯蔵品	48,305	50,952
その他	37,323	36,326
流動資産合計	4,356,503	4,079,821
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	812,245	801,933
土地	537,814	537,814
その他（純額）	67,613	65,262
有形固定資産合計	1,417,673	1,405,010
無形固定資産	36,139	33,647
投資その他の資産	8,072	8,412
固定資産合計	1,461,885	1,447,071
繰延資産	13,564	12,229
資産合計	5,831,953	5,539,121
負債の部		
流動負債		
支払手形	35,897	32,621
1年内返済予定の長期借入金	244,492	244,492
未払法人税等	21,625	7,780
賞与引当金	45,425	29,124
その他	125,402	172,789
流動負債合計	472,842	486,807
固定負債		
長期借入金	764,270	726,122
役員退職慰労引当金	100,200	100,200
その他	6,557	5,557
固定負債合計	871,027	831,879
負債合計	1,343,870	1,318,687
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,716,700	7,716,700
資本剰余金	5,546,700	5,546,700
利益剰余金	△8,775,316	△9,042,965
株主資本合計	4,488,083	4,220,434
純資産合計	4,488,083	4,220,434
負債純資産合計	5,831,953	5,539,121

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	73,070	129,623
売上原価	87,373	87,368
売上総利益又は売上総損失(△)	△14,303	42,255
販売費及び一般管理費	273,486	303,062
営業損失(△)	△287,790	△260,807
営業外収益		
受取利息	154	301
受取配当金	0	0
その他	639	478
営業外収益合計	794	780
営業外費用		
支払利息	7,238	5,226
株式交付費償却	2,062	1,403
その他	—	42
営業外費用合計	9,301	6,671
経常損失(△)	△296,296	△266,698
税引前四半期純損失(△)	△296,296	△266,698
法人税、住民税及び事業税	950	950
法人税等合計	950	950
四半期純損失(△)	△297,246	△267,648

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。